



4220
~9



おきりのきん
扇折帰帆

かけろぬ

扇乃ち巻に

我死てら

あててうらぬ

白帆とて見し

鏡磨秋月

磨月の鏡磨

しを

さとのもの

紫乃ちのり

池乃ちあう糸



機織落雁

織姫の又百機

ひき

雲間より抜を

ながるく見ゆ

石金



綿打暮雪

何行とつら

後と

袖うちぬ

雪のゆふと



九河内福娘
あるこあつに
わつらん
井ね
志ち
さん
忘れね能のわか



坂上星野
あせごうも
ありさけ
りね
んさき
うさね
うさね
うさね



壬生忠孝
あつたふれ
あつたふれ
あつたふれ
あつたふれ



春道列樹
かりさけ
ながさき
なで
なで



紀友則
おとこ
おとこ
おとこ
おとこ



藤原真風
おとこ
おとこ
おとこ
おとこ



紀貫之
おとこ
おとこ
おとこ
おとこ



清原深養父
おとこ
おとこ
おとこ
おとこ



父屋新康



泰議等



智近



平兼盛



壬生忠見



法元補



中納言敦忠



中納言頼忠



謙徳公



志新くすの



大申に徳宣撰



藤原実方



常祿好忠



源重之



藤原義孝



藤原道信



右大納道徳母

かきあふれ
しりり
あきつれぬ
ほふい後ある
こけいしり



大納公任

聖の巻
しりり
しりり
しりり
しりり
しりり
しりり
しりり



後同三司母

まのめい
かきあふれ
しりり
しりり
しりり
しりり
しりり
しりり



和泉式部

かきあふれ
しりり
しりり
しりり
しりり
しりり
しりり
しりり



豊式部

かきあふれ
しりり
しりり
しりり
しりり
しりり
しりり
しりり



赤坂

かきあふれ
しりり
しりり
しりり
しりり
しりり
しりり
しりり



大式部

かきあふれ
しりり
しりり
しりり
しりり
しりり
しりり
しりり



小式部内侍

かきあふれ
しりり
しりり
しりり
しりり
しりり
しりり
しりり



能因法師
山のまうであら
たぐれ
ちま
あり

良道法師
せんま
いんま
ひま
みま
あま

大納言
おら
おら
おら
おら

源後
おら
おら
おら
おら

前中納言
大納言
おら
おら
おら
おら

源後
おら
おら
おら
おら

菅原基俊
ちげ
人れ
いの
あ
あ
あ

菅原基俊
おら
おら
おら
おら



崇徳院



舟とくや
つらふ
あざとく
あざとく
あざとく
あざとく

大京大寺の補



あざとく
あざとく
あざとく
あざとく
あざとく
あざとく

後徳大寺の補



あざとく
あざとく
あざとく
あざとく
あざとく
あざとく

皇太后の御成



あざとく
あざとく
あざとく
あざとく
あざとく
あざとく

源義昌



あざとく
あざとく
あざとく
あざとく
あざとく
あざとく

待賢門院の補



あざとく
あざとく
あざとく
あざとく
あざとく
あざとく

道圓法師



あざとく
あざとく
あざとく
あざとく
あざとく
あざとく

若原法師の補



あざとく
あざとく
あざとく
あざとく
あざとく
あざとく

鎌倉七代目
志のり
かたのり
あまのり
たのり



大徳寺
まうてかく
ふさふさ
まじりか
ついでにのり



大徳寺
あまのり
ゆたか
ゆたか
ゆたか



大徳寺
あまのり
ゆたか
ゆたか
ゆたか



